

基本理念
～だれもが「おたがいさま」で支え合う
協働のまちづくり～

基本方針 I**地域力強化のための人材の確保・育成**

- 民生委員・児童委員の負担軽減や担い手確保に向けた取組
- 新たな担い手確保に向けた意識の醸成

基本方針 II**支え合いの地域づくり**

- 住民に身近な地域での支え合い活動推進の体制づくり
- 住民主体の課題解決力強化に向けた仕組みづくり

基本方針 III**多様な主体の連携・協働の推進**

- 熊本地震の被災者の生活再建に向けた支援
- 複合的な課題を抱えた方への支援
- 避難行動支援の仕組みづくり

計画策定の背景と目的

熊本地震の経験を活かした熊本市における「地域共生社会」の実現に向けて、基本方針や取組を整理し、地域全体で共有することにより、市、市社協、校区社協、民生委員・児童委員をはじめ、地域住民、地域団体、社会福祉法人、NPO、民間事業者等が一体的に地域福祉活動に取り組むことを目的として策定するものです。

地域住民をはじめ行政や各関係機関が支え合い、一人ひとりが生きがいを持つて、地域とともに創っていく「地域共生社会」の実現に向けて、今回の第4次計画が策定されています。

**【第4次熊本市地域福祉計画・地域福祉活動計画
令和2年度（2020）～令和6年度（2024）】****第14号**

令和3年2月発行
発行者 熊本市民生委員
児童委員協議会
会長 小山 登代子
〒860-0004
熊本市中央区新町2丁目4-27
熊本市社会福祉協議会内
☎ 096-288-2748

各主体の役割

取組	主体	取組における役割（期待されること）
民生委員・児童委員、主任児童委員への活動支援	行政	<ul style="list-style-type: none"> ・業務負担軽減の仕組みづくりに向けた民児協、市社協との協議（民生委員・児童委員経験者等と連携した方策の検討など） ・民生委員活動に関する各種研修の実施 ・民生委員活動に対する相談支援 ・市政だより等を活用した広報の実施 ・本市の退職者に対する働きかけ（退職時研修の実施）
	市社協	<ul style="list-style-type: none"> ・業務負担軽減の仕組みづくりに向けた行政、民児協との協議 ・民生委員活動に対する相談支援
	民生委員	<ul style="list-style-type: none"> ・業務負担軽減の仕組みづくりに向けた行政、市社協との協議 ・経験を活かした民生委員活動への協力（※民生委員・児童委員経験者）
	地域団体	<ul style="list-style-type: none"> ・民生委員・児童委員候補者の推薦
	地域住民	<ul style="list-style-type: none"> ・民生委員活動に対する理解・協力

この計画は、熊本市、熊本市社協だけの計画ではありません。
民生委員・児童委員に関係が深い部分について記載します。

**基本方針I-1-(1)
～民生委員・児童委員、主任児童委員への活動支援～**

- ◇ 地域の実情にあわせた候補者の確保に向けた取組
- ◎ 民生委員・児童委員の一斉改選にあわせ、自治会長に対し候補者推薦の協力依頼や、欠員が発生している校区に対しては、校区自治協議会に出向き、民生委員・児童委員候補者の推薦を依頼
- ◎ 民生委員・児童委員活動に対する市民の理解促進及び担い手確保のための啓発活動として、市政だより等を活用した広報を充実
- ◇ 負担軽減等に向けた取組
- ◎ 業務負担の軽減等を目的とした定期的な協議の実施や、複雑化・複合化する課題に対応できるよう、より専門性の高い研修を実施

スの感染拡大は、私たち民生委員・児童委員の活動に大きな影響を及ぼすこととなりました。長をはじめ各区民児協副会長の皆様に『コロナ禍での取り組み』について寄稿いただきました。



熊本市民生委員児童委員協議会

会長 小山 登代子

新型コロナウイルスの感染拡大は、私たちの活動に、多くの制約をもたらしました。様々なもどかしさを感じながら、日々を過ごされていると思います。必要なのかと問われた時『3密』対策を取りながら、運動や交流を行うことは大切だとの答えが返ってきます。Withコロナ時代を契機に、「人と人とのつながり」の重要性が、改めて認識されました。

日頃、地域で住民に寄り添う役割を持つ私たちは、「人と人をつなぐ」こと、地域の「豊かなつながり」を育むことに取り組んできました。地域のネットワークを活かし、ご自身とご家族の安全、健康に充分配慮しつつ、無理のない範囲内での活動をお願いします。今後とも、皆様のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

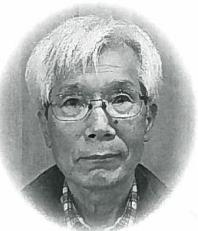
中央区民児協副会長

(本荘校区会長) 竹田津 キクエ

令和2年2月19日から、市・中央区・校区の会議・行事等全てが、中止や延期になりました。本当に「コロナの馬鹿野郎」です。担当する地域での見守りや、

人々との関わりがむづかしくなりましたが、だからと言つて民生委員活動は待つてくれません。会長の一言!!「こういう時だからこそやらなければならぬ事がある。」最初は躊躇しましたが、コロナの感染に注意をしながら、場所を移動して会長会、単位民児協の定例会を実施し、「民生委員児童委員信条及び児童憲章に基づき、援助を必要とする人の見守り等ができる事ができる事を続けています。11月2日全員出席での「あおば支援学校」の視察研修会を実施しました。

本荘校区では11月14日、「マイ・タイムライン」命を守る防災講座を開催しました。小学校のフッ化物洗口の協力も再開しました。これから見通しがたたない状況ですが、民生委員活動を止める事はできません。少しずつでも進めていかなければと思います。



東区民児協副会長

(西原校区会長) 濱崎 利明

今年の初めにクルーズ船内から始まったコロナ感染は、その後日本国内全土に広がり未だ収束を迎える気配はない状況です。地域でも子どもたちにとつて大きな節目の行事である卒業式や入学式が中止されたことは、子どもはもとより親御さんにとっても残念な春を迎えられたことだと思います。

私たち民生委員・児童委員の活動にも大きな影響を及ぼしていく、第一波のときには、市の公共施設や地域のコミュニティセンター・公民館等の使用が禁止されたため、定例会の会場を確保できずに、資料の配布や連絡事項、さらに、今後の活動のやり方等の説明を電話や戸別訪問で対処せざるを得ず、各会長も苦労されたことと思われます。特に、昨年の12月に改選されたばかりの新任の民生委員・児童委員には、新任研修会も中止されしており、このような状況でどのように活動したらいいのか、戸惑われないような配慮をする必要があるのではないか。

今の活動状況は、市からは3密による感染を防ぐための自粛要請もあり、訪問活動は特に見守りの必要な対象者に限定し、面接はなるべく避け、電話や外見（洗濯物が干してあるか・郵便受けに郵便物が溜まっているか・夜に明かりがついているか等）で対処しています。子どもや高齢者を対象にしたサロンについても、体温測定・消毒の徹底・参加者の名簿の記録管理・会場の広さに対する参加者の制限等の課題があり、なかなか再開に踏み切れない状況です。

最近、有効なワクチンの開発に成功したという明るいニュースも報道されていますが、今、第三波の感染状況は以前にも増した拡大傾向にあり、リスクの高い高齢者を対象にしたサロンや訪問活動は、特に注意を払った対応をする必要があります。とにかくこの状況が一日も早く収束することを期待して止まないものです。

西区民児協副会長

(白坪校区会長) 村山 寛

私の白坪校区では、コロナ禍の3月～8月の民生委員活動実績を昨年同時期と比較すると、相談・支援・活動件数は73%、訪問回数は78%、活動日数は77%となつております。コロナ禍の影響を受けていると言わざるを得ません。自粛ムードのなか、住民は相談等を手控え、民生委員も訪問や活動を手控えている状況が垣間見えます。しかし、このコロナ禍の過剰な自粛ムードのなか、例年の75%程度も活動していることは、他校区も同様でしょうが、民生委員一人一人が地域や住民のため、関係機関へのつなぎ役として、肃々としてその役目を果たしている結果だと思います。訪問前や訪問時の感染防止対策の徹底、電話での安否確認、近所からの見守り等、工夫しながら活動していることは頭が下がります。単位民児協会長の立場からは、マスク着用の顔見世会しかできず、10名の新任者のお顔とお名前が一致せず、またコミュニケーションが取りづらく苦労しております。コロナが収束し、正常な活動ができることを祈るのみです。

コロナ禍での民生委員活動

新型コロナウイルス
今回は、小山



(田迎南校区会長) 野口 志津子

新規コロナウイルス感染拡大により民
生委員・児童委員(民生委員)活動自粛

の通知が熊本市より出され、通常の民生
委員活動を縮小しなければならなくなり
ました。活動自粛期間が長くなるにつれて、この今までいい
のかという気持ちが続きましたが、仕方がないという気持ち
で済ませていきました。しかし、当校区では、社協事業の「ふ
れあい給食」を継続実施することになり、感染防止対策を取
り一人暮らし高齢者宅にお弁当を配布して、見守り活動をす
ることができました。情報の共有や研修の場である定例会も
開催ができませんでしたが、当民児協では4年前から
LINEを活用した情報交換をしていましたので、会議が開
催できなくても、LINEを利用した情報の共有ができまし
た。このLINE活用は、先の台風10号でもとても役立ちま
した。今回の台風は超大型との報道から一人暮らしの高齢者
から避難先の相談が多数ありました。「ささえりあ」から
ホテルの情報を把握した民生委員からLINEがあり、ほか
の民生委員も活用ができました。コロナ感染症の収束が見え
ない中、新たな民生委員活動の必要性が高まっています。民
生委員皆で知恵を絞り、地域の実情に合った活動を見出して
いこうと思います。



北区民児協副会長
(北部東校区会長) 松本 泰子

民生委員・児童委員として高齢者から
子どもまで幅広い活動があり地域の多くの
人の生活に関わっています。その中で児
童委員としての活動だけを取り上げてみ
ても、もうすぐママ教室・赤ちゃん訪問・子育てサークル・

学校での母子交流事業などなど、多くの活動があります。地
域の中で元気に育っていく子どもたちを見ながら、その成長に
関わることは、とても幸せなことです。しかし、新型コロナ
の流行に伴いこれらほとんどの活動がこれまでのようにできな
くなりました。特に、赤ちゃん訪問は、「お母さんと赤ちゃんの
地域デビュー」を応援するものでしたが、コロナ禍の中でその動
きが絶たれてしまいました。「元気に子育てできる?」「子
育てに悩んでない?」と気になるところで、私たちもあらた
な気持ちで、人ととのつながりを大切にし、子どもたちが
すくすくと育つ地域を目指したいと思います。

私たち託麻西校区民生委員・児童委員は、夏休み期間中3日程、小学校の依
頼を受け校内のボランティア活動を行いました。

新型コロナウイルスの流行のため、高齢者、赤ちゃん訪問、研修など、また
学校行事にもほとんど参加できず、民児協活動もままならぬこの頃、何かでき
ることはないだろうか?と何度も話し合いを重ねてきましたところ、校区の自
治協議会の会合で小学校から要請があり、日頃なかなか手がつけられない学校
の手洗い場やトイレなど汚れの目立つところの掃除をすることになりました。
暑い中、汗をかきながら力を入れ心を込めて磨き、少しずつきれいになりました。
も「ピッカピッカ」になるにつれ、疲れも吹っ飛び「いい汗かいたね」と皆達
成感でいっぱいになりました。短い時間ではありましたが、少しは役に立てた
かな?と自負しております。また機会を作りお手伝いをしたいと思つております。
このことによつてチームの連帯感が一段と強くなつたように感じています。

また、いつまで続くかわ
からないコロナによつて面
会出来なくなり私達を必要
としている人たちとの交流
がいつときも早く普通に出
来るよう願つています。
「子どもたち地域の皆様
頑張りましょう」エールを
送ります。



活動の様子



託麻西校区
民生委員・児童委員

コロナ禍の中のボランティア

東区託麻西校区民児協 会長 宮崎 敏幸



新規コロナウイルス感染拡大により民
生委員・児童委員(民生委員)活動自粛
の通知が熊本市より出され、通常の民生
委員活動を縮小しなければならなくなり
ました。活動自粛期間が長くなるにつれて、この今までいい
のかという気持ちが続きましたが、仕方がないという気持ち
で済ませていきました。しかし、当校区では、社協事業の「ふ
れあい給食」を継続実施することになり、感染防止対策を取
り一人暮らし高齢者宅にお弁当を配布して、見守り活動をす
ることができました。情報の共有や研修の場である定例会も
開催ができませんでしたが、当民児協では4年前から
LINEを活用した情報交換をしていましたので、会議が開
催できなくても、LINEを利用した情報の共有ができまし
た。このLINE活用は、先の台風10号でもとても役立ちま
した。今回の台風は超大型との報道から一人暮らしの高齢者
から避難先の相談が多数ありました。「ささえりあ」から
ホテルの情報を把握した民生委員からLINEがあり、ほか
の民生委員も活用ができました。コロナ感染症の収束が見え
ない中、新たな民生委員活動の必要性が高まっています。民
生委員皆で知恵を絞り、地域の実情に合った活動を見出して
いこうと思います。

令和2年12月8日、熊本県総合福祉センター2階会議室において、熊本県民生委員児童委員協議会へ「令和2年7月豪雨災害義援金(80万円)」を贈呈しました。





主任児童委員部会からの報告

コロナ禍における子育て支援

～「ほっこり子育てひろば」の子育てキットの発送とZoomお話し会を実施して～

「ほっこり子育てひろば」は、飽田地区で活動している子育て支援の会です。熊本市子どもの未来応援基金を活用して、月2回の子育て会を開催していました。

ところが、新型コロナウィルスの感染拡大に伴い、人を集めての活動ができにくくなりました。

そこで、「子育て情報の郵送」、「Zoomお話し会の開催」を実施しました。

「ほっこりキット発送」

2ヶ月に1回、以下内容のキットを、昨年度子育て会に参加した方に、郵送しました。

「ほっこりキット」の内容

- スタッフからの直筆のご挨拶
- 手作りおもちゃ
- 親子からだ遊びのやり方
- おすすめの絵本
- 簡単クッキングレシピ
- 季節の折り紙
- 返信用はがき
- 他



～返信のはがきから～

「早くコロナが落ち着いて、安心して出かけられるようになったら、また一緒に遊んで下さい」

「スタッフの方からのお手紙に、元気をいただきました」

「子どもの食事やおやつに悩むことが多いです。」など返信多数

飽田西校区主任児童委員 北野裕子



「Zoomお話し会」開催

聞き手を前にして、生の声でお話しを伝えることは大切なことです。

しかし、このコロナ禍において、子育て支援の場に足を運べない親子も多いのは事実でした。それは、ほっこりキットの返信はがきでも明らかでした。そこで、Zoomによるお話し会は、孤立した親子と繋がる手段としては、効果的であったと思います。「お話し会にもとても行けず、こういう機会を待っていました」というメールをいただきました。画面を通して参加者の様子を見ながらお話しができるZoomお話し会を、今後も企画していきたいと思います。

<開催までのスケジュール>

- | | |
|-----|---|
| 6月 | 飽田公民館にZoom講習会依頼
講習会スタッフ参加 |
| 7月 | スタッフZoom企画会議 |
| 8月 | Zoomお話し会プログラム決め
練習開始(Zoomにて練習) |
| 9月 | 必要機材購入
著作権許諾申請(各出版社へ) |
| 10月 | Zoomお話し会開催広報開始
飽田公民館より広報支援にて、
熊本市LINE広報(2回)
10月17日午前10時30分～11時
Zoomお話し会開催 親子10組参加 |



■東区民児協

つながるマップ(地域情報掲載マップ)のご紹介

熊本地震からこの4月で5年となり、仮設住宅等へ入居しておられた方々の住まいの再建が進んでいます。住まいを再建された方が、それぞれの地域に馴染み、安心して暮らしていただきたいとの思いを込め、東区では、民児協をはじめとした各種団体の協力の下「つながるマップ」を作成しました。その名のとおり、人ととのつながりを応援するマップです。具体的には、色々な世代の方が参加する夏祭りや運動会といった地域行事、町内ごとに開催されているいきいきサロン、また、健康教室やくまもと元気くらぶなどを小学校区ごとに整理し掲載しています。

現在、コロナの影響により人が集まるイベント等はそのほとんどが自粛せざるを得ない状況にありますが、本来、地域にはたくさんの集いの場があります。

コロナに対するワクチンや治療薬の開発が進み、以前のように地域のみなさまと一緒に「人と人がつながるまちづくり」の取り組みができるることを心から祈ります。

東区地域支え合いセンター
(東区役所保健子ども課地域健康班)



個人情報の管理は慎重に!!

民生委員法には守秘義務が規定されています。
保有する情報には十分気を付けましょう!!